

豊富なサイズバリエーション、70サイズ!

21	● 295/25ZR21 96Y ● 255/30ZR21 93Y	● 225/45ZR18 95Y 245/45ZR18 96Y	17	225/55ZR17 97Y ● 205/50ZR17 93Y 215/50ZR17 91Y	● 225/55ZR16 99W 195/50R16 84V 205/50ZR16 87W
20	● 275/30ZR20 97Y ● 245/35ZR20 95Y	● 225/40ZR18 92Y ● 235/40ZR18 95Y	● 205/45ZR17 88W ● 215/45ZR17 91W	● 225/50ZR16 92W 195/45R16 80V	
19	● 265/30ZR19 93Y ● 275/30ZR19 96Y	● 245/40ZR18 97Y ● 255/40ZR18 99Y	● 225/45ZR17 94Y ● 235/45ZR17 97Y	● 205/45ZR16 87W ● 225/45ZR16 93W	
	● 285/30ZR19 98Y ● 225/35ZR19 88Y	● 275/40ZR18 99Y ● 285/40ZR18 101Y	● 245/45ZR17 99Y ● 255/45ZR17 98Y	245/45ZR16 94W 15	
	● 235/35ZR19 91Y ● 245/35ZR19 93Y	● 215/35ZR18 84W ● 225/35ZR18 87Y	● 205/40ZR17 84W ● 215/40ZR17 87W	185/55R15 82V 195/55R15 85V	
	● 255/35ZR19 96Y ● 275/35ZR19 100Y	● 245/35ZR18 88Y ● 255/35ZR18 94Y	● 235/40ZR17 94Y ● 245/40ZR17 95Y	205/55R15 88V 195/50R15 82V	
	285/35ZR19 99Y ● 225/40ZR19 93Y	● 265/35ZR18 97Y ● 275/35ZR18 99Y	● 255/40ZR17 98Y ● 265/40ZR17 96Y	● 205/50R15 89V 225/50R15 91V	
	● 245/40ZR19 98Y 255/40ZR19 96Y	● 285/35ZR18 101Y ● 295/35ZR18 103Y	16	195/55R16 87V 205/55ZR16 91W	195/45R15 78V 205/45R15 81V
18	● 235/50ZR18 101Y	● 285/30ZR18 97Y	215/55ZR16 93W		

PROXES T1R は車重が重くハイパワーな輸入車にもしっかり対応できるETRTO規格でつくられました。

- ETRTO設計...ヨーロッパのタイヤ規格のことで、ヨーロッパ車に装着されているタイヤは、この規格にあった設計がなされています。
- リンフォースドタイヤ (Reinforced Tire) 採用...ETRTOに定められた規格で一般的に「強化タイヤ」と呼ばれています。空気圧の設定は2.9bar (=290kPa) で負荷能力を発揮するように決められており、一般の規格のタイヤに比べ、高い空気圧を使用することで、負荷能力/ロードインデックスが高められます。
- W・Yレンジ設定...「Wレンジ」...最高速度270km 「Yレンジ」...最高速度300km ※サイズにより異なります。

「性能」「タイヤサイズバリエーション」をキーとしたセールストークが効果的!

「高速安定性」がウリのPROXESブランドです。
「運動性能」「ウェット性能」ならT1R、
「静粛性」「乗り心地」ならCT01ですよ。

運動性能を重視されるなら、
「高速道路での安定性」「ウェット性能」にてPROXES T1R、
「キビキビした応答性」にてTRAMPIO Vimodeですよ。

ドイツのアウトバーンを走る為にW・Yレンジという最高速度270km~300kmまで
走れる設計をしていますので、高速道路でも安定した走りが出せますよ。

(Neo Vシェイプパターンを見せながら)
水を切り裂くパターンをしているので
雨の高速道路でも余裕のある走りができますよ。

15インチから21インチまで
70サイズのバリエーションがあるので、
お車にぴったりのインチアップができますよ。

多彩な販促ツールで、PROXESの魅力をアピール!



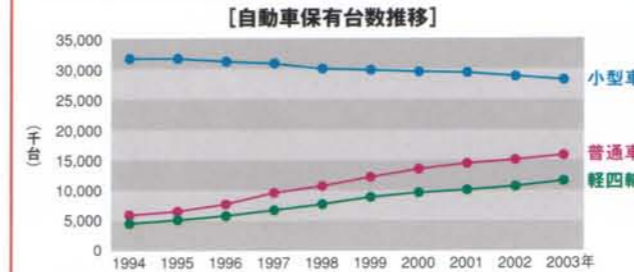
販売店様用

TOYO HOTLINE NEWS Vol. 19

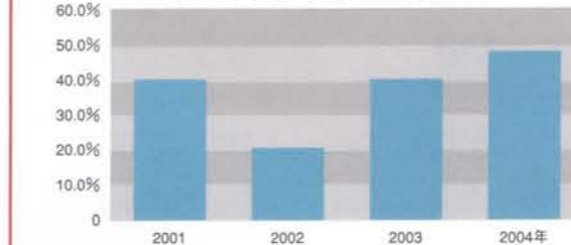
高級セダン・スポーツ車オーナーのニーズをくすぐる高性能タイヤを!

市場背景

車両クラスは二極分化
「大型セダン」と「スポーツ車」が復権

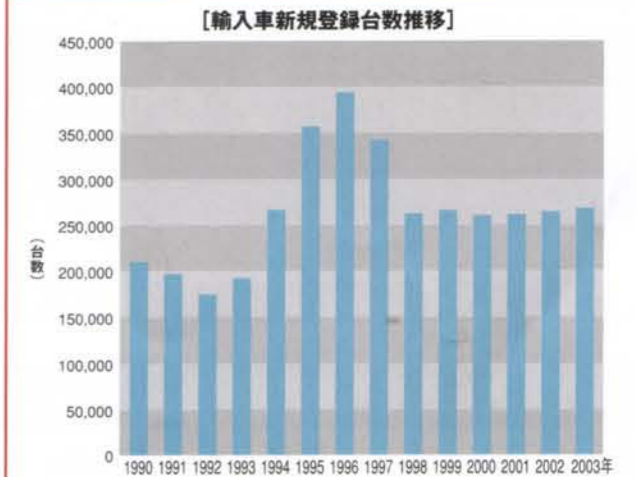


【セダンスポーツ新車構成比推移】



- 「軽四輪・普通車(3ナンバー)」の増加と「小型車(5ナンバー)」の減少。
- 各社とも「ミニバン」に加え、「大型セダン」と「スポーツ車」の発売が相次ぐ。

確立された輸入車市場



- バブル崩壊や消費税アップを要因とする登録台数激減から、増加傾向へ。
- 小型・中型輸入車の相次ぐ登場で、手の届きやすいクルマへ。

ますます高性能化する「大型セダン」と「スポーツ車」。

タイヤに求められるのは、高次元の
運動性能 + 快適性能

- 高速安定性 ● 運動性能 ● ウェット性能



新登場

PROXES T1R のコンセプトは、高速安定性を基本とした
「優れた運動性能」「排水性」の高次元MIX!

ウルトラ・ハイ・パフォーマンスブランド、PROXES!!

PROXESは、「**高速安定性**」を基本に高速域での性能を重視した高品位ブランド。



Comfort Cruising
PROXES CT01

「**高速安定性**」を基本に、「**静粛性**」「**乗り心地**」を重視したウルトラ・ハイ・パフォーマンス

新登場

Active Cruising

PROXES T1R

「**高速安定性**」を基本に、「**運動性能**」「**ウェット性能**」を重視したウルトラ・ハイ・パフォーマンス



Stylish Cruising
PROXES S/T

「**高速安定性**」を基本に、「**乗り心地**」「**ウェット性能**」を重視したウルトラ・ハイ・パフォーマンス

アクティブクルージングのための高性能。PROXES T1R 誕生!!

「**高速安定性**」がウリのPROXESブランド。その中でもPROXES T1Rは、「**運動性能**」「**ウェット性能**」に優れています。

《確かな高速安定性と、卓越した運動性能》

優れた高速安定性と偏摩耗抑制のために2つの機能を採用。

●ショルダースタビリティリブ 採用

段差摩耗が起こりやすいショルダー部分にリブを設けることにより、パターン剛性を高め、高速安定性・運動性能を摩耗末期までキープします。

●Neo Vシェイプパターン 採用

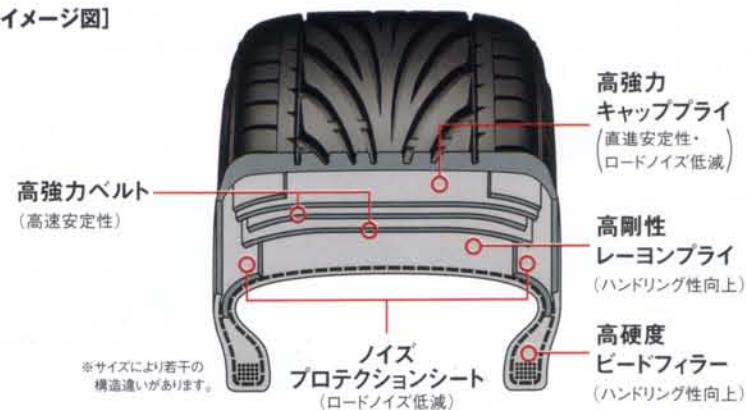
連続的なVシェイプパターンを採用しパターン剛性を向上させ、高速での安定した走りを実現しました。

高速域での手ごたえのあるハンドリングを実現するために剛性を向上。

●高剛性ケース 採用

踏面部・サイド部・ビード部、全ての剛性を向上させることにより、高速でのコーナリング、直進時の安定性を両立させました。

【構造イメージ図】



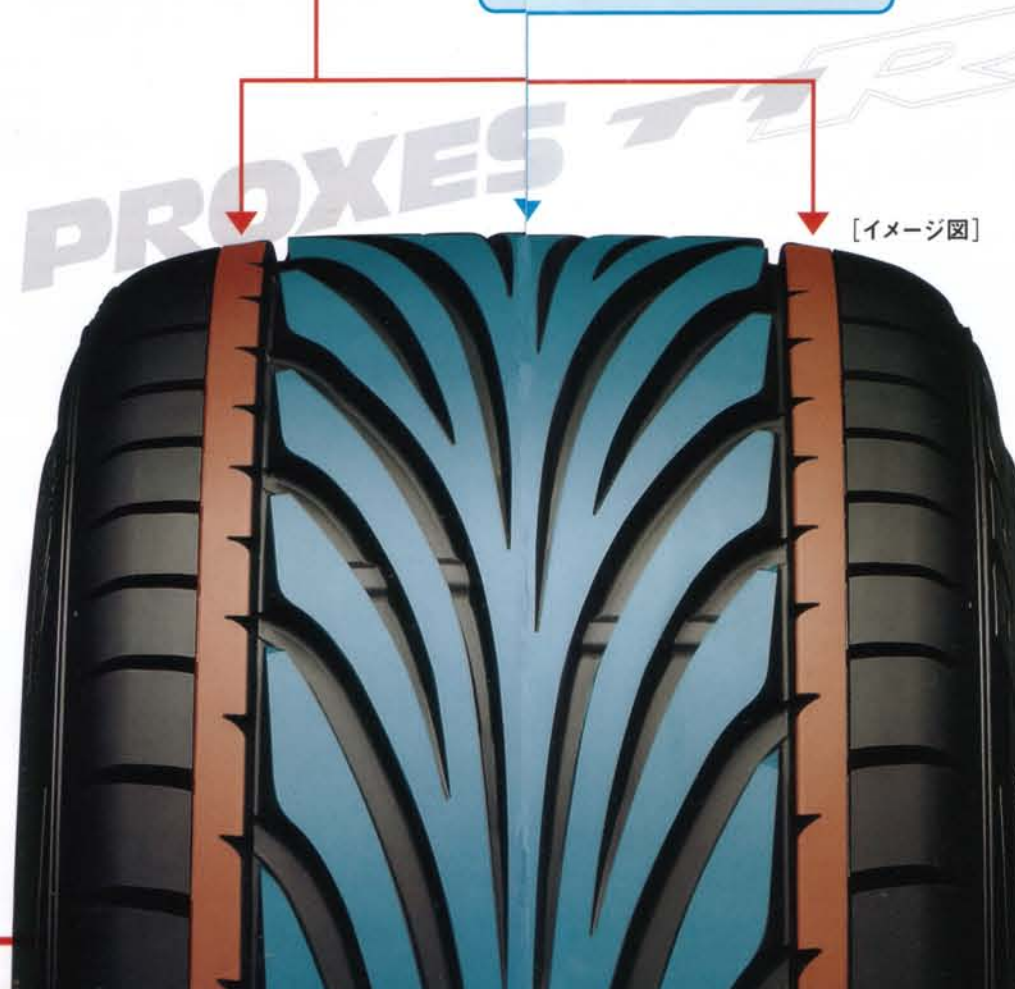
■ノイズプロテクションシート

タイヤショルダー内部に、振動吸収効果の高い「ノイズプロテクションシート」を配置。路面からの振動により発生するロードノイズ(ゴー音、ガー音)を低減し、路面を選ばず常に高い静粛性を確保します。



ショルダー
スタビリティリブ

Neo Vシェイプ
パターン



《路面の状態を選ばないウェット性能》

優れた排水性能を発揮するために。

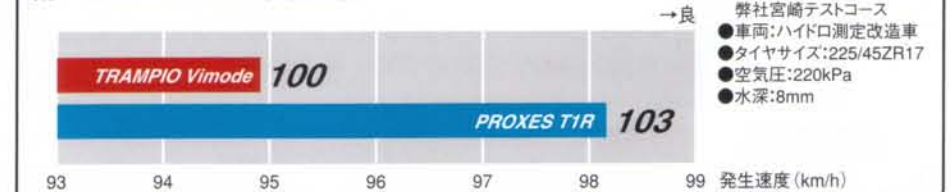
●Neo Vシェイプパターン 採用

濡れた路面を切り裂く鋭角に配置されたシャープなパターン形状と溝配置により、雨天走行時も優れた排水性能を発揮します。



【排水イメージ図】

耐ハイドロブレイキング性能比較

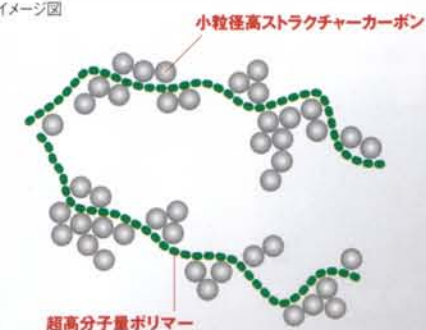


すべての機能を支えるコンパウンド技術。

●Neo シリカコンパウンド 採用

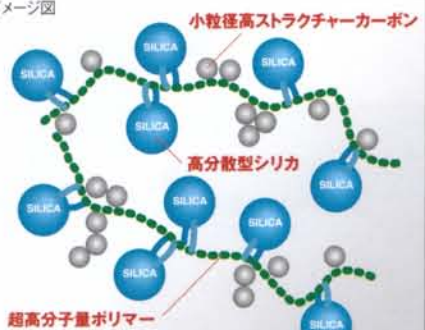
超高分子量ポリマーと高分散型シリカを結合させることで、高速耐久性とウェットグリップ、耐摩耗性を高次元でバランスさせました。

イメージ図



TRAMPIO Vimode配合

イメージ図



PROXES T1R配合